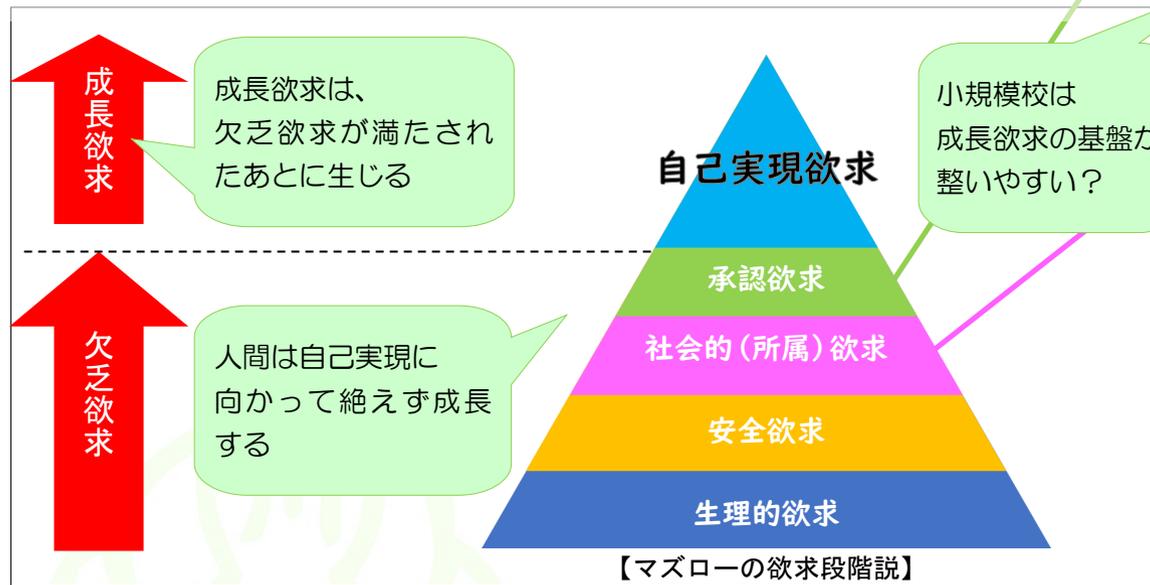


川上小（小規模校）のよさ

校長 牧 健一

9月の学校便りでは、「人とのつながりや関係性を大切にする」学びの場をさらに充実させることを、二学期の方針として掲げました。その方針のもと、川上フェスタやもちまるめ大会、食農体験、地域合同運動会など、多くの行事を実施することができました。これらの行事には、地域の皆さまや保護者の方々に積極的にご参加いただき、心より感謝申し上げます。このような体験が、児童の成長にとって重要な基盤となると、私は考えています。

下に示した図は、私が大学生の頃に学んだ古典的な心理学理論です。



地域住民や保護者の方々との距離が近い地域社会では、社会的（所属）欲求が満たされやすく、小規模校においては、少人数できめ細かな指導が可能であるため、児童一人一人が達成感を得やすい環境が整っています。この理論によれば、その結果、児童の成長欲求が生じやすく、学校教育目標である「自ら学び共に生きる児童」の育成につながるという仮説も考えられます。

職員もまた、小規模校ならではの1人1回の研究授業実施や、複式学級での二学年分の教材分析などを通じ、日々研鑽に励んでいます。また、学校のあらゆる学びの場で「チーム川上」として、献身的に児童の成長を支えています。教師の働き方改革を念頭に置きつつ、迎える三学期は「児童一人一人の達成感の充実」を重点方針に掲げたいと考えます。学びや活動を通して、児童が自らの成長を実感し、「できた」という喜びを味わえるよう、職員一同全力で取り組んでまいります。



気持ちのいいあいさつをしよう 寒さにまけないようにしよう 郷土の食べ物を知ろう

川上小（小規模校）のよさ

● 児童1人1人が達成感を得やすい（承認欲求）



個に応じた指導の充実



毎年1人1受賞



児童全員・廊下掲示

● 人とのつながりや関係性のよさ（社会的欲求）



地域ボランティア立哨指導



人生の先輩と米づくり



地域・保護者の読み聞かせ

↑ 国の教育方針とも合致する

第四期教育振興基本計画コンセプト

個人が獲得・達成する
能力や状態に基づく
ウェルビーイング
（獲得的要素）

- ・自己肯定感
- ・自己実現 など

人とのつながり・関係性に
基づくウェルビーイング
（協調的要素）

- ・利他性
- ・協働性
- ・社会貢献意識 など

両者を調和ある形で一体的に
向上させていくことが重要

学校（教員）のウェルビーイングの充実（負担軽減）も課題となっています



川上フェスタ（学習発表会）



今年、1・2年生は国語科の授業内容を発表しました



川上ビブリオバトルは全員立派な発表ができました



この日に向け、先生方も懸命に指導しました

川上11月9日（土）、体育館で川上フェスタ（学習発表会）を開催しました。会場には保護者の方々をはじめ多くの方々が参加してくださいました。地域の皆さまにも出席していただき、感謝の気持ちを込めてお礼申し上げます。



毎年恒例！もちまるめ大会



11月1日（金）、学校田で収穫した餅米をつかい、毎年恒例のもちまるめ大会をしました。地域や保護者の方々の協力もいただき、楽しい体験活動ができました。

❀ ❀ ❀

変更もありますので
週報などご確認ください。

8日（水）始業式 心の教育の日
 11日（土）校内書き初め大会
 15日（水）鹿児島学力・学習状況調査①
 16日（木）鹿児島学力・学習状況調査②
 23日（木）中学校体験入学・新入生入学説明会（市来中）
 29日（水）スクールカウンセラー来校
 ※移動図書 9日（木）、16日（木）

❀ ❀ ❀